



# ゲーム進行の手引き



**ゲームの作業 I**  
 主人公のいまの住まいと  
 貯金額を台紙に反映させる

①最初に  
 今の相談者の  
 生活場所  
 を記入したり、カードを  
 貼る

現在の生活場所	費用無料	万円	万円	万円	万円	合計 万円
<p>壊れた自宅</p>	ボランティア・専門家支援	応急修理制度 <small>その市町村に災害救助法の適用必要</small>	<small>被災者生活再建支援法</small> 基礎支援金 <small>被災者生活再建支援法の適用必要</small>	火災（地震）保険・共済	アイデアカード	ライフスタイルカード 1枚目
途中の生活場所	万円	万円	万円	万円	税金還付	合計 万円
<p>仮設住宅カードなどを貼るか上に記入する</p>	義援金	自治体の独自支援	災害弔慰金	災害援護資金貸付 <small>都道府県内の市町村どこか1つに災害救助法の適用必要</small>	雑損控除	ライフスタイルカード 2枚目
最終的な住まい	解体費無料	万円	借金の減免	万円	万円	合計 万円
<p>住まいカードなどを貼るか上に記入する</p>	公費解体 <small>半壊～大規模半壊への拡大適用には特定非常災害の適用が必要</small>	<small>被災者生活再建支援法</small> 加算支援金 <small>被災者生活再建支援法の適用必要</small>	被災ローン減免制度	リバースモーゲージ型融資 <small>〔60歳以上限定の返済特例〕</small>	災害復興住宅融資	現在の貯蓄額 ④ 200 万円 <b>最終合計</b> <small>①～④の合計額を記入</small> 万円

②次に  
 相談者の  
 貯蓄額を  
 書く



**ゲームの作業Ⅱの1**  
**ライフスタイルカード2枚と**  
**住まいカード1枚を選び貼る**

**③最終的な再建の選択**

たとえば

- ①修理する
- ②現地で建替
- ③解体して転居

の前提として、

主人公家族が優先するべきと思う

**ライフスタイルカード**

**2枚選んで、台紙に貼る**

**ライフスタイルカード**  
 生活再建で大切にするカードを2枚選び、切って台紙の右側におきます

<p>手元のお金</p>	<p>住み慣れた自宅</p>	<p>近所の友人・地域</p>
<p>安心な家</p>	<p>便利な生活</p>	<p>安全な場所</p>
<p>老後も安心</p>	<p>先祖代々の土地・場所</p>	

元の場所で

引っ越す

**住まいカード**  
 最終的な住まいを1枚選び、切って台紙の左下におきます

<p>壊れた自宅</p>	<p>自宅を修理</p>	<p>自宅の建替</p>
<p>別の場所で家を新築</p>	<p>別の場所で家を買う (新築・中古)</p>	<p>別の場所で借家住まい</p>
<p>高齢者住宅介護施設</p>	<p>公営住宅</p>	

**④選んだライフスタイルカードを前提に**

これを実現するための**住まいの再建方法**を住まいカードから**1枚選んで、台紙に貼る**



**ゲームの作業Ⅱの2**  
**ライフスタイルカード2枚と**  
**住まいカード1枚を選び貼る**

現在の生活場所	費用無料	万円	万円	万円	万円	合計 万円
<b>壊れた自宅</b> 	ボランティア・専門家支援	応急修理制度  その市町村に災害救助法の適用必要	被災者生活再建支援会 基礎支援金  被災者生活再建支援法の適用必要	火災（地震）保険・共済	アイデアカード	
<b>途中の生活場所</b> 	万円	万円	万円	万円	税金還付	合計 330万円
仮設住宅カードなどを貼るか上に記入する	義援金	自治体の独自支援	災害弔慰金	災害援護資金貸付  都道府県内の市町村どこか1つに災害救助法の適用必要	雑損控除	
<b>最終的な住まい</b> 	解体費無料	万円	借金の減免	1200 万円	万円	合計 万円
<b>自宅の建替</b> 	公費解体  半壊～大規模半壊への拡大適用には特定非常災害の適用などが必要	被災者生活再建支援会 加算支援金  被災者生活再建支援法の適用必要	被災ローン減免制度	リバースモーゲージ型融資【60歳以上限定の返済特例】	災害復興住宅融資	現在の貯蓄額 <b>④ 200 万円</b> <b>最終合計</b> ①～④の合計額を記入 万円

**③ ライフスタイルカードを2枚貼る場所**

**④ 最終的な住まいカードを貼る場所**



**ゲームの作業Ⅲ**  
 使える生活再建カードを  
 全て台紙に貼って、金額も記入

⑤使える**生活再建カード**を台紙の上に  
 全て貼って、**金額**なども書く

⑤選んだ  
 住まいの  
 再建方法  
 のために、  
 使える  
**生活再建  
 カード**を  
 台紙の上  
 に全て  
 貼って、  
**金額**など  
 も書く

現在の生活場所	費用無料	万円	100 万円	10 万円	万円	合計 110万円
壊れた自宅 	ボランティア 専門家支援  片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談	応急修理制度  その市町村に 災害救助法の 適用必要	被災者生活再建支援金 基礎支援金  全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円	火災(地震) 保険・共済  火災保険だけで は地震・津波の 被害保障なし	アイデアカード  	近所の 友人・地域 
途中の生活場所	30 万円	50 万円	万円	250 万円	税金還付	合計 330万円
仮設住宅  原則 2年 以内 家賃無料 半壊も入居可能性	義援金  家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される	自治体の 独自支援  自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集	災害弔慰金	災害援護 資金貸付  1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付	雑損控除 (災害減税法)  建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される	安心な家 安心 安全 
最終的な住まい	解体費無料	200 万円	借金の減免	1200 万円	万円	合計 1400円
自宅の建替 	公費解体  原則全壊が対象。 特定非常災害等なら 半壊以上の家屋や 一部事業所も無料で 解体・撤去	被災者生活再建支援金 加算支援金  建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊以上 の各半額	被災ローン 減免制度	リバース モーゲージ  60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能	災害復興 住宅融資	現在の貯蓄額 ④ 200 万円  最終合計 ①~④の合計額を記入 2040 万円

⑥これが選  
 んだ住まい  
 の再建に  
 使える最終  
 的な合計  
**金額**  
 になる



# 作業の順序 (まとめ)

⑤ 決めた住まいの再建のために使える**生活再建カード**を台紙の上に全て貼り、**金額**を書く

③ 今後の住まい再建方法を決める上で大切にしたい**ライフスタイルカード**を2枚選ぶ

① **今の生活場所**を記入したりカードを貼る

現在の生活場所	費用無料	万円	100 万円	10 万円	万円	合計 110万円
壊れた自宅 	ボランティア 専門家支援 片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談	応急修理制度 その市町村に 災害救助法の 適用必要	被災者生活再建支援金 基礎支援金 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円	火災(地震) 保険・共済 火災保険だけでは 地震・津波の 被害保障なし	アイデアカード	近所の 友人・地域 
途中の生活場所	30 万円	50 万円	万円	250 万円	税金還付	合計 330万円
仮設住宅 	義援金 家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される	自治体の 独自支援 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集	災害弔慰金	災害援護 資金貸付 1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付	雑損控除 (災害減免法) 建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される	安心な家 安心 安全 
最終的な住まい	解体費無料	200 万円	借金の減免	1200 万円	万円	合計 1400万円
自宅の建替 	公費解体 原則全壊が対象。 特定非常災害等なら 半壊以上の家屋や 一部事業所も無料で 解体・撤去	被災者生活再建支援金 加算支援金 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額	被災ローン 減免制度	リバース モーゲージ 60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能	災害復興 住宅融資	現在の貯蓄額 ④ 200 万円 最終合計 ①~④の合計額を記入 2040 万円

④ **ライフスタイルカード**を前提に、**最終的な住まいカード**を貼る

② **貯蓄額**を  
書く

⑥ **選んだ住  
まいの再建  
に使える  
合計金額**

修理を選択する場合にみる表  
(ゲーム用カンニングペーパー)



台紙に貼るカードを  
この表の左から順番に  
チェックしていこう!

この表の数字を参考に  
台紙に金額を書いて  
いけばいいのね♪



主人公がもらった罹災証明  
の段だけを見ればいいんだね

<p><b>義援金</b> 家族の死や住家被害の程度により支給される</p> <p><b>火災(地震)保険・共済</b> 火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p> <p><b>ボランティア専門家支援</b> 片付け・土砂除去など様々な働きこの欄に</p> <p><b>災害弔慰金</b> 家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p>	<p><b>被災ローン減免制度</b> 住宅、事業、教育などの減額・免除</p>	<p><b>災害援護資金貸付</b> 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p><b>自治体の独自支援</b> 自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p><b>応急修理制度</b> 仮設住宅 半壊以上 70万6000万円 準半壊 34万3000円</p>	<p><b>仮設住宅</b> 原則2年以内家賃無料 半壊も入居可能性</p>	<p><b>被災者生活再建支援金 基礎支援金</b> 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p><b>災害復興住宅融資(建設・購入・補修)</b> 普通 の 住宅 ローン</p>	<p><b>リバースモーゲージ</b> 利息の返済だけの特例</p>	<p><b>被災者生活再建支援金 加算支援金</b> 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p><b>雑損控除(災害減免法)</b> 建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
--	--	--	---	---	--	--	--	--	---	--

単位：万円

大規模半壊	<p>この4枚のうち、使えるカードは全て貼る！ 義援金、火災保険(共済)は、問題文を確認する！</p>	<p>主人公が借金を抱えていたら使うか検討する！ 主人公に借金がなければ使わない</p>	170	<p>問題文をみて使えるか検討する。使うなら金額記入</p>	70.6	使える どちらかを選択	50 (単身37.5)	上限1200 (評価の6割) どちらかを選択	100 (単身75)	<p>主人公が税金をおさめていそうな場合は貼る！ 確定申告をすることで税金が減額、免除になる</p>
中規模半壊			170		70.6	使える どちらかを選択	上限1200 (評価の6割) どちらかを選択	50 (単身37.5)		
半壊			170		70.6	使える どちらかを選択	上限1200 (評価の6割) どちらかを選択			
準半壊			家財の3分の1以上の損害 あれば150		34.3		上限1200 (評価の6割) どちらかを選択			
一部損壊			家財の3分の1以上の損害 あれば150				上限1200 (評価の6割) どちらかを選択			

解体・現地建替えを選択する場合にみる表  
(ゲーム用カンニングペーパー)



台紙に貼るカードを  
この表の左から順番に  
チェックしていこう！

この表の数字を参考に  
台紙に金額を書いて  
いけばいいのね♪



主人公がもらった罹災証明  
の段だけを見ればいいんだね

 家族の死亡や住家被害の程度により支給される  火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし  片付け・土砂除去など様々な依頼に対応  家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給	 免状 住宅、事業、教育などの減額・免除	 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付	 自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集	 原則2年以内家賃無料半壊も入居可能性	 原則全壊建物が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も無料で解体・撤去	 全壊・解体・長期避難100万円 大規模半壊50万円	 (建設・購入・補修) 普通の住宅ローン	 利息の返済だけの特例	 建設・購入 200万円 修理 100万円 民間貸借 50万円 *中規模半壊は上の各半額	 (災害減免法) 建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される
---	----------------------------	-----------------------------------	------------------------------	------------------------	---	-------------------------------	----------------------------	----------------	---	---

単位：万円

全壊

大規模半壊

中規模半壊

半壊

準半壊

この4枚のうち、使えるカードは全て貼る！  
義援金、火災保険(共済)は、問題文を確認する！

主人公が借金を抱えていたら使うか検討する！  
主人公に借金がなければ使わない

350

250

250

250

家財の3分の1以上の損害  
あれば150

問題文をみて使えるか検討する。使うなら金額記入

使える

使える

使える

使える

使える

使える

使える

使える

100  
(単身75)

100  
(単身75)  
※解体を前提

100  
(単身75)  
※解体を前提

100  
(単身75)  
※解体を前提

上限2700  
(評価の6割)  
どちらかを選択

上限2700  
(評価の6割)  
どちらかを選択

上限2700  
(評価の6割)  
どちらかを選択

上限2700  
(評価の6割)  
どちらかを選択

200  
(単身150)

200  
(単身150)  
※解体を前提

200  
(単身150)  
※解体を前提

200  
(単身150)  
※解体を前提

主人公が税金をおさめていそうな場合は貼る！  
確定申告をすることで税金が減額、免除になる



**解体して引越しを選択する場合にみる表  
(ゲーム用カンニングペーパー)**



台紙に貼るカードをこの表の左から順番にチェックしていこう！

この表の数字を参考に台紙に金額を書いていけばいいのね♪



主人公がもらった罹災証明の段だけを見ればいいんだね

<p><b>義援金</b> 家族の死や住家被害の程度により支給される</p> <p><b>火災(地震)保険・共済</b> 火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p><b>被災ローン減免制度</b> 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p><b>災害援護資金貸付</b> 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p><b>自治体の独自支援</b> 自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p><b>仮設住宅</b> 原則2年以内家賃無料半壊も入居可能性</p>	<p><b>公費解体</b> 原則全壊建物が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も無料で解体・撤去</p>	<p><b>被災者生活再建支援金 基礎支援金</b> 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p><b>災害復興住宅融資 (建設・購入・補修)</b> 普通の住宅ローン</p>	<p><b>リバースモーゲージ</b> 利息の返済だけの特例</p>	<p><b>被災者生活再建支援金 加算支援金</b> 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p><b>雑損控除 (災害減免法)</b> 建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>
---	--	--	---	---	--	--	--	--	---	---

単位：万円

<b>全壊</b>	<p>この4枚のうち、使えるカードは全て貼る！ 義援金、火災保険(共済)は、問題文を確認する！</p>	<p>主人公が借金を抱えていたら使うか検討する！ 主人公に借金がなければ使わない</p>	250	<p>問題文をみて使えるか検討する。使うなら金額記入</p>	使える	使える	100 (単身75)	上限3700 (評価の6割) どちらかを選択	<p><b>建築・購入</b> 200(単身150) <b>借家に転居</b> 50(単身37.5)</p>	<p>主人公が税金をおさめていそうな場合は貼る！ 確定申告をすることで税金が減額、免除になる</p>
<b>大規模半壊</b>			170		使える	使える	100 (単身75) ※解体を前提	上限3700 (評価の6割) どちらかを選択	<p><b>建築・購入</b> 200(単身150) <b>借家に転居</b> 50(単身37.5)</p>	
<b>中規模半壊</b>			170		使える	使える	100 (単身75) ※解体を前提	上限3700 (評価の6割) どちらかを選択	<p><b>建築・購入</b> 200(単身150) <b>借家に転居</b> 50(単身37.5)</p>	
<b>半壊</b>			170		使える	使える	100 (単身75) ※解体を前提	上限3700 (評価の6割) どちらかを選択	<p><b>建築・購入</b> 200(単身150) <b>借家に転居</b> 50(単身37.5)</p>	
<b>準半壊</b>			家財の3分の1以上の損害 あれば150						すべて 建築・購入の場合のみ	

# 賃借物件の方がみる表

(ゲーム用カンニングペーパー)



台紙に貼るカードを  
この表の左から順番に  
チェックしていこう！

この表の数字を参考に  
台紙に金額を書いて  
いけばいいのね♪



主人公がもらった罹災証明  
の段だけを見ればいいんだね

単位：万円

 家族の死や住家被害の程度により支給される  火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし	 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除	 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付	 自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集	 原則2年以内家賃無料半壊も入居可能性	 全壊・解体・長期避難100万円 大規模半壊50万円	 (建設・購入・補修)	 利息の返済だけの特例	 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額	 (災害減免法) 建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される
--	----------------------------	-----------------------------------	------------------------------	------------------------	-------------------------------	----------------	----------------	--	--

<p><b>全壊</b> →</p> <p>この4枚のうち、使えるカードは全て貼る！ 義援金、火災保険(共済)は、問題文を確認する！</p>	<p>主人公が借金を抱えていたら使うか検討する！ 主人公に借金がなければ使わない</p>	<p>250</p>	<p>問題文をみて使えるか検討する。使うなら金額記入</p>	<p>使える</p>	<p>100 (単身75)</p>	<p>上限3700 (評価の6割) どちらかを選択</p>	<p>建築・購入 200(単身150) 借家に転居 50(単身37.5)</p>	<p>主人公が税金をおさめていそうな場合は貼る！ 確定申告をすることで税金が減額、免除になる</p>
<p><b>大規模半壊</b> →</p>		<p>170</p>		<p>使える</p>	<p>50 (単身37.5)</p>	<p>上限3700 (評価の6割) どちらかを選択</p>	<p>建築・購入 200(単身150) 借家に転居 50(単身37.5)</p>	
<p><b>中規模半壊</b> →</p>		<p>170</p>		<p>使える</p>	<p>原則なし</p>	<p>上限3700 (評価の6割) どちらかを選択</p>	<p>建築・購入 100(単身75) 借家に転居 25(単身18.75)</p>	
<p><b>半壊</b> →</p>		<p>170</p>		<p>使える</p>	<p>原則なし</p>	<p>上限3700 (評価の6割) どちらかを選択</p>	<p>原則なし</p>	
<p><b>準半壊</b> →</p>		<p>家財の3分の1以上の損害あれば150</p>			<p>● 大家さんが解体すれば全壊と同金額</p>	<p>すべて 建築・購入の場合のみ</p>	<p>● 大家さんが解体すれば全壊と同じ金額</p>	